

平成11年1月5日

米国コンビケム社と研究契約に調印

小野薬品は1月5日、米国のベンチャー企業コンビケム社と、自己免疫疾患及び免疫領域を対象とし、新しい仕組みに基づく経口低分子治療薬の研究、開発を目的とした研究契約を締結したと発表した。

両社は本契約締結以前に、コンビケム社所有の化合物ライブラリーに関するスクリーニング契約を締結し、コンビケム社の技術が創薬研究に応用可能か検討を行ってきた。その結果に基づいて、同社との研究提携を開始することとなった。小野はコンビケム社の創製する化合物に対する全世界の権利を獲得する見返りとして、コンビケム社に研究資金、開発段階におけるマイルストーン契約金、販売に伴うロイヤリティーを支払う。

コンビケム社は、米国サン・ディエゴに本社を置く、コンビナトリアル化学技術とコンピュータ技術を基本テクノロジーとして医薬品創製を行う公開会社である。同社の技術は医薬品、バイオテクノロジー、アグロケミカル分野で応用可能であり、既に、Athena Neuroscience社、ICOS社、ImClone社、Novartis Crop Protection社、Roche Bioscience社、住友製薬、帝人と研究を実施している。